

令和3年10月28日 東久留米市立第六小学校 11月号 校長 内田 かほ里

「知ること」と「思いを馳せること」

校長 内田 かほ里

18日(土)の学校公開では、多くの保護者の方のご参観ありがとうございました。また、多くの制限のある中で、ご理解とご協力をいただいたこと、アンケートへの回答と改めて感謝いたします。

「正しい知識は大切だと思った。」

「道具があれば苦手を得意に変えていけるのかもしれないと思った。」

「自分自身にもどの字が一番見やすいか、一番見にくいかがあることに気付きました。」

「知らなかったことがたくさんありました。もう少し勉強しようと思います。」

「自分の知らない発音、吃音の世界を知ることができてよかった。」

「人の個性をばかにしないことが大事だと思った。」

「自分に何ができるのか考えようと思った。」

これは、理解啓発授業を実施した4、5年生の子供たちの感想です。 六小では、ことばときこえの教室や特別支援教室(すずらん教室)の 教員の強みを生かし、右記のように、学年の発達段階に応じて、6年間 を通した理解啓発授業を担任とともに実施しています。

東京2020大会ビジョンの1つに「一人一人が互いに認め合い(多

- ①ことばの教室・きこえの教室が あること
- ②発音や吃音について
- ③聞こえにくさについて
- 4読み書きの困り感について
- ⑤自分の傾向について

上記の5つの内容を、学年の発 達段階に応じて、体験などをしなが ら学んでいます。

様性と調和)」、文部科学省からは「共生社会の形成に向けて」、また、多くの企業では「ダイバーシティ&インクルージョン」を経営理念として掲げており、これからの時代を生きる子供たちにとっては、多様性を互いに尊重し、認め合い、共に活躍・成長することができる力が必要となります。「多様性を互いに尊重し、認め合う」ということは、「相手を受け入れる」こと・・・わかっていても、なかなか大人でも容易ではないですよね。

では、私たちにできることは何でしょうか。それは、まず、「知る」こと、そして、「思いを馳せる」ということではないでしょうか。

私は、よく子供たちに「相手の立場に立って考えましょう。」という話をします。しかしながら、相手の事を知らなければ、相手の立場に立って考える事はできないのではと、子供たちの感想を読みながら改めて考えさせられました。もしかしたら、「知らない」ということが、無意識の差別や偏見、いじめにつながっているのかもしれません。六小の取り組みは小さなことかもしれませんが、これも一つの「知る」ことと「思いを馳せる」ことと考えています。そして、六小の子供たち一人一人のこの小さな積み重ねが「多様性を互いに尊重し、認め合う」社会につながっていくと、私は信じ、願っています。

最後に、「知る」ためには、「思いを馳せる」ためには、子供たちの感想にあるような柔軟な心のありようが必要なのでしょうね。

◎11月以降の教育活動等について

新規感染者数が減少傾向にあるとはいえ、集団生活を伴う学校においては、まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大防止や感染予防に対応していかなければならない状況です。学校では、感染防止対策を緩めることなく、しかしながら、未履修の学習活動がないよう、学習活動、行事等を進めていきます。

ご家庭においても、毎日の健康観察(検温、カード記入)などの、日常的な感染症予防対策についてのご協力をよろしくお願いいたします。

11月の学校行事

H	œn.	朝子供		₩44447- 4-	授業時間						
日	学習		麰	学校行事		2年	3年	4年	5年	6年	
1	月	全		安全指導 委員会活動	4	5	5	5	6	6	
2	火	\circ		東京都学習状況調査(6年)		5	6	6	6	6]
3	水			文化の日							
4	木	体		B時程 朝:大繩集会 放課後タイム	5	5	6	6	6	6	
5	金	\bigcirc		B時程	5	5	5	6	6	6	
6	土										
7	日										
8	月	遊		開校記念週間始	4	5	5	5	5	5	
9	火	\bigcirc		避難訓練	5	5	6	6	6	6	
10	水	0		小中連携の日 東中部活動体験(6年) 1年生水曜 5時間授業 開始	5	5	5	5	5	6	
11	木	児		開校記念日	5	5	6	6	6	6	
12	金	0		開校記念週間終	5	5	5	6	6	6	
13	土										
14	日										l
15	月	遊			4	5	5	6	6	6	
16	火	0			5	5	6	6	6	6	
17	水	\bigcirc			5	5	5	5	5	5	1
18	木	体		朝:大繩集会 学習発表会準備6校時(6年)	5	5	6	6	6	6	•
19	金			学習発表会 (児童鑑賞)	5	5	5	6	6	6	1
20	土			午前授業・土曜時程 学習発表会 (保護者鑑賞)	4	4	4	4	4	4	
21	日										
22	月			振替休業日							
23	火			勤労感謝の日							l
24	水	0	3	学習発表会片付け(5年)	5	5	5	5	5	5	1
25	木	縦		縦割り班活動 東京都学習状況調査(5年) プログラミング・キャラバン(6-1)	5	5	6	6	6	6	4
26	金	\circ		B時程 東京都学習状況調査 (4年)	5	5	5	6	6	6	
27	土										1
28	日										ĺ
29	月	0		クラブ活動	4	5	5	6	6	6	1
30	火	全		保護者会(1,2年) 5時間授業始 演劇鑑賞教室(6年)	5	5	5	5	5	5	

〇小中連携の日

(10日)

6年生が東中で参観や 体験を行います。 6時間授業となりま



〇学習発表会

(19日・20日)

今年は学習発表会を 通して、日頃の学習活動 を総合的に発展させた 成果を見ていただきま す。

19日は児童鑑賞日、 20日は保護者鑑賞日 となっています。詳細等 は、後日配布される学習 発表会についての案内、 プログラムをご覧くだ さい。



○6年演劇鑑賞教室について

毎年、劇団四季の演劇を劇場で鑑賞しておりまし たが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学 校にて動画配信版を視聴することとなりました。

時:11月30日(火)1,2校時 日 演 目:新作「はじまりの樹の神話

~こそあどの森の物語~」

○東京都学習状況調査について

調查対象学年: 4, 5, 6年生

調査内容:学習や生活についての意識調査

調査方法:タブレット端末による回答

11月の生活目標 「協力して仕事をしよう」

保健: 丈夫な体をつくろう 給食:感謝の気持ちで食べよう

~ありがとうございました。

よろしくお願いいたします。~

児童介助員の原智子先生が、ご家庭のご事情 により8月末でお辞めになられました。9月末 より、児童介助員として鈴木直子先生が着任さ れました。主に、1~3年生の子供たちの学校生

活面での支援をしていただきます。

令和3年度 6年全国学力・学習状況調査からみる第六小の子供たち

5月27日、6年生を対象に学力・学習状況調査(国語、算数)を実施しました。調査結果を分析し、課題改善に向けた今後の取組についてお知らせいたします。本調査結果は、あくまでも学力・学習状況の一部分です。他教科も含め、総合的に学力向上を目指していきますので、家庭学習を含めた一層のご協力をお願いいたします。

~課題改善に向けた今後の取り組み~

◎学校として

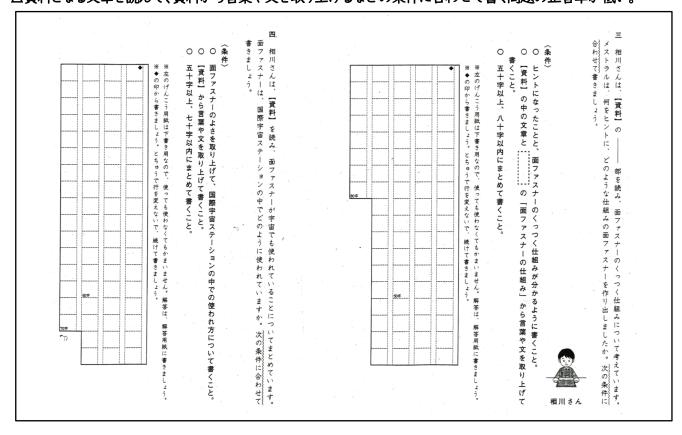
- Ⅰ 児童の学力を高める日々の授業改善と授業実践
- 2 一人一人の成果と課題に基づく個々の学力の伸長
- ○授業改善の具体例
- 【国語】・具体的な事実、自分の感想、意見などを区別しながら、必要な内容を整理して書くこと、目的や意図に応じて書く学習の充実
 - ・漢字の読み書きの幅広い指導展開
 - ・読解力を高める読書活動の工夫
- 【算数】・多様な考え方を共有する、友達の考えを発表するなど、I単位時間の授業の展開の工夫
 - ・学習で学んだことと実生活との関連
 - ・授業の振り返りの中で、自らの課題を見つけさせる等の授業の充実
 - ・「e ライブラリ」、「東京ベーシック・ドリル」等を活用した、基礎的・基本的な学習内容の確 実な定着

●国語

〈優れているところ〉◎読むこと→正答率9割 ◎話すこと・聞くこと→正答率7割

〈課題となるところ〉

△資料となる文章を読んで、資料から言葉や文を取り上げるなどの条件に合わせて書く問題の正答率が低い。

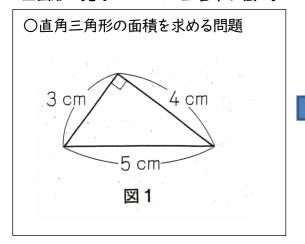


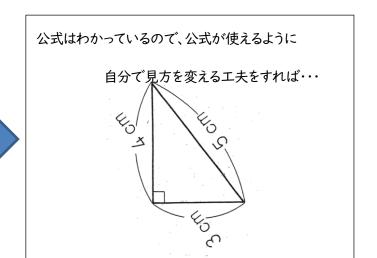
〈優れているところ〉◎データの活用→正答率7割 ◎測定→正答率7割



〈課題となるところ〉

△図形の見方についての正答率が低い。





●全体を見て

- ①書く学習活動を、国語科のみならず、国語科との関連を図りながら各教科等に意図的、計画的に設定していく必要があると考えます。
- ②国語、算数ともに問題の後半について、無答率が高い傾向が見られます。粘り強く考える力、決められた時間に課題を処理する力、見通しをもって取り組む力を育成する必要があると考えます。

●児童質問紙調査から(東京都、全国と比較して肯定的な回答が高い項目を抽出)

(1)将来の夢や目標を持っているかについて

(%)

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
本校	75.9	13.0	5.8	5.6
東京都	57 . I	21.5	11.9	9.5
全国	60.2	20. I	10.8	8.9

(2) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているかについて

(%)

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
本校	31.5	57.4	7.4	3.7
東京都	34.8	48.7	14.5	2.0
全国	35.9	48.4	13.8	1.9

(3)人の役に立つ人間になりたいと思うかについて

(%)

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
本校	87.7	9.3	3.7	0.0
東京都	72.9	21.7	3.9	1.5
全国	75.4	20. I	3.3	1.2

◎自己肯定感にあたる項目は国や都の平均を上回っています。また、「将来に希望や目標をもっている」質問には、約9割の児童が肯定的に考えています。これは、学びの基盤となる大事な要素です。